

末広まちづくり推進協議会 会議録 令和8年度第2回

会議概要	
日時	令和8年8月25日（火曜日）午後6時00分から午後7時40分まで
場所	末広公民館 1階 講座室
出席者	委員（13名、正副会長以外は50音順） 村田会長、加藤副会長、阿部委員、柴田委員、舘岡委員、田畑委員、 禎島委員、中森委員、西田委員、則末委員、日比生委員、丸山委員、 柳澤委員 （欠席者 小林委員、早川委員） 事務局 まちづくり協働課 高桑主査 説明 社会教育課 小島主幹、浪内 オブザーバー 地域まると支援員 鈴木
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第
	資料1 令和8年度末広地域活動計画
	資料2 こどもまんなかまちづくり

議事の内容

1 開会

2 報告・協議事項

(1) 末広地域の課題について

「末広地域まちづくり推進プログラム」の地域課題、及び、普段感じている地域課題について出し合った。また、社会教育課から「こどもまんなか」の取組について説明を行った。以下は主な委員意見。

- ・末広地域では整形外科が相次いで閉院している。
- ・プログラムには地域特性に医療の充実を挙げているが、そう言える状態だろうか。
- ・地域状況は変わっていくものなので、状況把握と課題も見直していかなければならない。
- ・ねん挫など、比較的軽いけがの場合、近い病院を使っていた。末広地域に整形外科がなくなることから、搬送先が遠くなる。
- ・リハビリなどで定期通院していた方からの相談が包括支援センターにも寄せられている。閉院迄1か月の間、かかりつけ医からの紹介があればと思う。
- ・バスの便数も減っている。
- ・町内会の民生委員について。無報酬ボランティアということで、推薦者を探すことが難しい。いまは社会も変わって、まったくの無報酬では担ってくれる人がいない。このような状況に対して、市としても考えてみる必要性がある。
- ・末広地区の民生委員は31名で、11月の改選では仲間内で人探しを行った。結果、年齢制限の75歳以下で欠員なく充足できた。報酬ではないが、手元に残らないとしても、活動費として年間6万円ほどの支給はある。
- ・町内会長が民生委員も兼務するというような状況を解消できたところだが、今後どうなるか。
- ・パンフレットなどである程度の広報はされてはいるが、民生委員のなりて不足から、もっと大々的に周知されているのではなかろうか。
- ・チラシ類だと見ない人もいる。
- ・人が見つからない状況など、仲間内でなんとかするほかに、上位組織にどんどん相談すべきではないか。
- ・南民児協は2欠員、人は埋まらないので、会長が穴埋めしてくれている。
- ・収入関係の証明など、相談に来る人は結構居る。
- ・毎日相談がある。
- ・街灯のLEDの問題について。半額補助を受けながら計画的な交換を行ったが、費用の高騰が進む中、補助額が変わらないと地域の持ち出しが大きくなる部分については、行政側でもなんとか考えてもらえないと、非常に厳しい状況が予想される。

- ・申請書作成も事業者に頼むと有料なので負担が増える。
- ・ごみステーションについても同様に使用年数で傷んでくる。修繕した方がまだ安価なので、直して使ってはいるが、いずれ更新の必要性はあるかもしれない。
- ・プログラムの高齢者の課題について。認知症に係る記載が見当たらない。当人及び家族に対して、早期発見、相談体制、それから、認知症カフェのような、当事者同士の交流の場、サロンのような場づくりなど、地域課題として記載したい。
- ・独居の方で、以前とは違った、少し気になる、おかしい行動を見た時にはどうしたら良いか。
- ・65歳以上の方ならすべて地域包括支援センターへ連絡していただける。また、身近な情報として民生委員に連絡してもらっても良い。
- ・ごみの分別などは、認知症に関して分かりやすいものの1つで、近所の目として、放ったらかしにしないこと。
- ・「こどもまんなか地域づくり」の取組について、配布資料を基に小島主幹から説明を行った。地域と学校の協働について、広陵中学校区だと最近はプール監視員の課題があった。他地域では、永山西小学校のオタスケマン、旭川中学校の地域のごみ拾いなど。
- ・末広地域においては、まち協の中にこども部会を設けられないだろうか。
- ・地域と学校の協働の仕組みでは、お互いさまの共助の気持ちが大事である。
- ・認知症養成講習を小中学生対象に行いたいと考えている。春光台地区では、学校の理解があっ
て行うことができたが、学校のカリキュラムがタイトで、その中に組み込めない状況になっている。
- ・担当者が変わると中断してしまうことがあるが、ぜひ長く継続して欲しい。
- ・ふれあいスポーツクラブ主催の大運動会には、広陵中学校の生徒が応援に来てくれている。学校の協力があって、良い世代間交流になっている。
- ・学校運営協議会の仕組みも使える。
- ・広陵中学校吹奏楽部は、盆踊り会場、敬老会、末広東ふれあい祭りなど、地域活動に関わっている。
- ・広陵中学校区の諸活動について、六合中学校区に情報共有して欲しい。
- ・地域の行事に参加してみたいけれども、町内会の方だけを対象としているのではなくて、他地域の人でも参加できるような、アットホームなお祭りはないですか、と聞かれる。
- ・主催側としては、町内会の費用を使っているのだから、町内会に属する人かどうか、は気にしている。
- ・お祭りに参加してくれた人には、町内会活動への参加について、聞いたりしている。
- ・そうになると、重すぎる。意見を聴く、くらいなら良いのだけれども。
- ・町内会に属している人なら、何かあったときに住民保険が適用できると思うが、よその町内会に出かけて行ってけがをした場合はどうなるのか。

- ・ こどもは、どこに居ても、けがを負った場合には保険で賄われる。
- ・ 物を壊したとか、という場合にはどうなるか。
- ・ とにかく、子どもはお祭りが好きなので、情報を得て出かけていくこともある。盆踊りもそうだし、昔のろうそく出せもそうであった。
- ・ 情報を流通させて、よりにぎやかに、より楽しくするのが良いと思う。より多くなることで、購入量も増える。
- ・ 生徒たちが参加する地域清掃の予定がある。地域にアイディアを募って準備していきたい。

(2) 今後の進め方について

末広地域の各実行委員会の進捗報告をした。

- ・ 末広地域交通安全対策実行委員会
9月18日に交通安全旗波活動を予定している。地域への案内は9月4日取りまとめ予定。
- ・ 末広まちづくり実行委員会
ニュース部会の方は、第21号の発行に向けて準備が進んでいる。9月に発行予定。
防災部会の方は、10月3日に地域防災訓練を企画し、準備が進んでいる。
- ・ 防災会議準備会
8月18日に地域関係者の会議を行って、検討を進めている最中である。
- ・ 見守りネットワーク実行委員会
11月15日に50～60名規模の研修会を企画している。

3 その他

今後の開催日程について

令和8年度第3回協議会は12月8日(火) 18時～、令和8年度第4回協議会は3月9日(火) 18時～、末広公民館で行う。

4 閉会